

2019年9月期
第5期株主通信

2018年10月1日から2019年9月30日まで

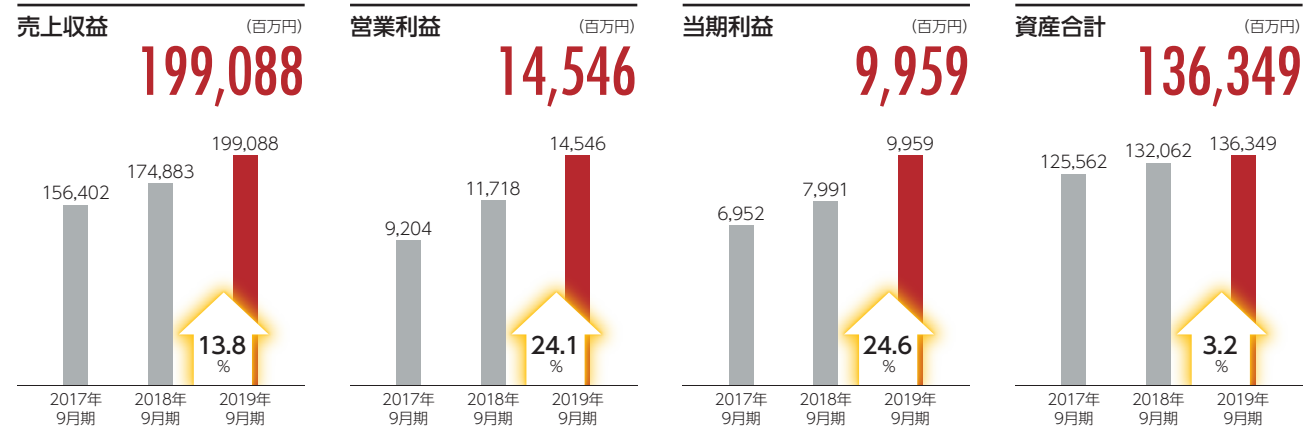


うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。



～主な取り組みと成果～

- ▶ 売上、各利益ともに創業来最高を更新
- ▶ スシローグループにおける通期出店数は45店舗(国内32店舗、海外13店舗)で着地し、合計566店舗(国内541店舗、海外25店舗)となり、引き続き店舗数は回転すし業界No.1
- ▶ コスト高の環境下でも利益率も更に改善



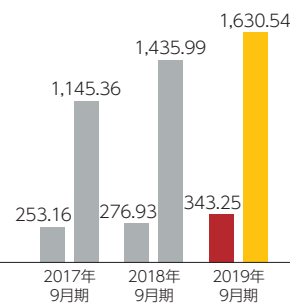
基本的1株当たり当期利益(EPS)

343.25
(円)

1株当たり親会社所有者帰属持分(BPS)

1,630.54
(円)

- 基本的1株当たり当期利益 (EPS)
- 1株当たり親会社所有者帰属持分 (BPS)



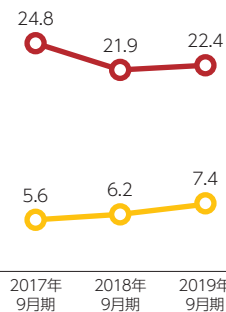
ROE

22.4
(%)

ROA

7.4
(%)

- ROE
- ROA



※1 2016年9月期より、国際会計基準(以下:IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しております。
 ※2 当社は、2016年12月22日付で普通株式590株を1株にする株式併合を実施しております。基本的1株当たり当期利益及び1株当たり親会社所有者帰属持分については、2017年9月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、当該株式併合後の発行済株式数により算定しております。
 ※3 当期利益は、親会社の所有者に帰属する当期利益を表しています。
 ※4 ROE = 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 期中平均親会社の所有者に帰属する持分
 ※5 ROA = 当期利益 / 期中平均資産合計



～ごあいさつ～

本年、台風がもたらした豪雨などにより被災された皆様、並びにご家族の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社グループは、大阪市阿倍野区にあった「鯛すし」を起源として、“うまいすしをより多くのお客様に気軽に食べていただきたい”という思いから、1984年に現在の回転すし『スシロー』事業を創業しました。創業当時からグループ全体に継承されている「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」という思いこそが、これまでもこれからも変わらぬ当社の使命であると考えています。

2019年9月期の国内事業では、店舗数を着実に増加させながら、既存店の売上も昨年対比で107.4%を達成するなど、引き続き回転すし業界売上No.1の地位を確かなものとしております。また、大衆寿司居酒屋「鮎・酒・肴 杉玉」にお

いても出店のペースをあげながら、既存・新規どちらの店舗においても売上は堅調に推移しております。海外事業におきましては、韓国・台湾の店舗数拡大のみならず、香港とシンガポールへの出店も実現いたしました。中期経営計画(FY19-FY21)にて掲げる5つ以上の国・地域への展開と海外売上高200億円、海外店舗比率10%超という目標に対して、着実に歩みを進めております。これらの国内外の取り組みの結果、売上、各利益ともに創業来最高を更新することができました。

株主の皆様におかれましては引き続き、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年12月

株式会社スシローグローバルホールディングス
代表取締役社長

水留 浩一

国内成長を基盤に海外展開を加速

当社グループの業績と中期経営計画（FY19-FY21）・海外展開などについて水留社長に聞きました。

現在の市況における当期の成績と取り組み

2019年9月期の当社グループの状況につきましては、まずはこれまでの既存店の伸びが当期も引き続き良かったことがあげられます。外食産業というものは、いかに既存店の売上昨年対比で100%を超えていくかということに苦労しているものです。しかし、当期は107.4%という業界の中でもかなり高い既存店の伸びを示すことができました。これはスシロー自体に競争力がついてきたこと、お客様に我々の取り組みが良い形で受け入れられていることの証左だと思っています。



2019年9月期業績ハイライト

- 売上、各利益ともに創業来最高を更新
- コスト高の環境下でも利益率も更に改善

	2018年9月期		2019年9月期		昨年対比
	実績	売上比	実績	売上比	
売上収益	174,883	100.0%	199,088	100.0%	+13.8%
営業利益	11,718	6.7%	14,546	7.3%	+24.1%
当期利益	7,991	4.6%	9,959	5.0%	+24.6%
調整後当期利益	8,053	4.6%	9,995	5.0%	+24.1%

※ 当期利益は、親会社の所有者に帰属する当期利益を表しています。

また、大衆寿司居酒屋「鮨・酒・肴 杉玉」につきましても、堅調に売上をあげることができ、出店を続けています。店舗自体のサイズもそこまで大きくないこともあり、ロケーションを含めて多様な出店の余地があります。当初は100店舗を目安にしていたのですが、より拡大できる感触を得ることができています。

中期経営計画（FY19-FY21：2019年9月期～2021年9月期）初年度の手応えについて

国内事業については前述の通り好調です。海外事業については、これまでに展開した韓国と台湾においても着実に出店数を伸ばしています。これに続いて、当期は香港とシンガポールにも1店舗ずつオープンさせることができました。これで合計4つの国・地域へ広がりをみせることができたこととなります。香港・シンガポールの両店舗ともに売上は

堅調に推移して手応えを感じており、更に店舗の拡大ができると考えています。我々が良いと信じてご提供しているものが、これまで出店してきた国・地域におけるマーケットでも良い形で受け止められているという手応えがありますので、これで他の国・地域への展開も進めていける感触を得ることができたと思います。

もちろん今の4つの国・地域だけでは満足していません。まだまだスシローの開店を待っている国・地域が他にもありますので、そこにも広げていきたいですし、深耕と拡大、両方で進めていきたいと考えています。

佐敦店 (香港 '19/8)



チョンバル店 (シンガポール '19/8)



今後の成長戦略と株主の皆様へのメッセージについて

2019年10月をもちまして、私自身は株式会社あきんどスシローの会長職となりました。理由の一つには、私自身のリソースの配分のことがあります。国内のスシロー事業というのは、我々の屋台骨であり、大事な事業ではありますが、細かいところまでみていくとかなりのリソースを割



く必要がでできます。国内のスシロー事業は軌道に乗りつつあるということ、形ができていることも考えると、そこは次の世代に任せてみるという判断をしました。

そして、私自身は新しいことや、海外事業、海外のサプライチェーンを作っていくこと、あるいはM&Aのような、グループの更なる拡大を狙えるようなマネジメントや管理に注力していきます。M&Aについて言えば、この外食というフィールド全体の中で、いいものを持っている会社と一緒にやっていくことで、双方の経営が良くなるのであれば、すし以外の外食事業におけるM&Aの可能性が無いわけではありません。しかし、基本はすしが主軸であることはこの先も変わらないと思います。

スシローはまだまだ大きな成長を目指して、進んでいきたいと思っておりますので、株主の皆様には、中・長期的にご支援賜りますようお願い申し上げます。

グローバル外食グループへ加速

香港・シンガポールへ出店開始

当社は、中期経営計画（FY19-FY21）において売上高1兆円の、すし・和食のグローバル外食グループを目指し、海外への本格展開を進めております。

これまでに展開を果たした韓国・台湾においては当期も好調を維持し、更なる出店を続けています。

また、当期は香港とシンガポールにも現地法人を設立し出店国を拡大。中期経営計画（FY19-FY21）の目標である5つ以上の国・地域への展開を見据えつつ、更なる拡大を目指してまいります。

2019年9月期 海外出店状況

韓国 **14** 店舗

台湾 **9** 店舗

香港 **1** 店舗

シンガポール **1** 店舗

中期経営計画（FY19 - FY21）海外展開目標

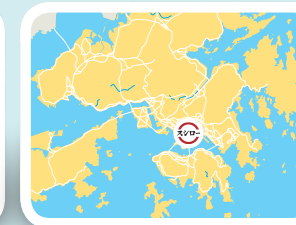
▶ 5つ以上の国・地域への展開

▶ 海外売上高200億円、海外店舗比率10%超へ



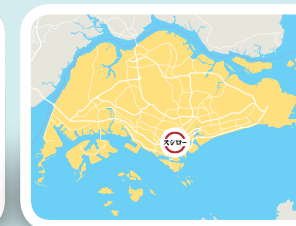
香港

韓国、台湾に続く3つ目の国・地域として、香港初の店舗が2019年8月13日、佐敦（Jordan）の彌敦道（Nathan Road）沿いにオープンしました。店舗面積は約750㎡で席数は144席。香港においても日本のすし人気は高く、日本の店舗に負けない集客を目指し、今後も積極的に出店を加速させてまいります。



シンガポール

2019年8月19日、東南アジア初の店舗としてシンガポールのTiong Bahru Plazaにオープンしました。本店舗では、100種類以上のすし及びサイドメニューを2.2シンガポールドルから提供しております。日本から食材を直輸入し、美味しく、コストパフォーマンスの高い日本の味を、シンガポールのお客様にご提供してまいります。



≡ Topics ≡

スシローの商品開発の新たな歴史を拓く『匠の一皿プロジェクト』スタート！



スシローでは回転すしの常識を変える逸品を目指し、名店の匠たちとともに商品開発をする『匠の一皿プロジェクト』を開始いたしました。

『匠の一皿プロジェクト』は当社の企業理念である「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」の更なる実現を目指し、すし以外のジャンルの異なる名店の匠たちと、スシローの定番となり得る商品を創る新商品開発プロジェクトです。名店の味をスシロー価格でお楽しみいただける新たな取り組みに、ぜひご期待ください。



「赤海老とうにの紹興酒漬けにぎり」



「琉球パフェ」



「炙りサーモン自家製タルタル」



「金華さば信州練りみそ炙り」

ゴー!ゴー!キッズプロジェクト「スシローと一緒に海を体験するツアー」開催



当社では、「うまいすしを、つなぐ。」を合言葉に、すしを通じて子どもたちに「食」の大切さを伝えることと、食材の仕入れなど、スシローの「安心・安全」へのこだわりや取り組みを知っていただくことを目的として、「ゴー!ゴー!キッズプロジェクト」を実施しています。

今回のツアーは、尾鷲物産株式会社様のご協力のもと「尾鷲の海講座」や、巻きすし体験、養殖場での餌やり体験などを実施しました。

当社はこれからも「地域に喜ばれるお店づくり」を目指し、企業として地域や社会に貢献できる活動を続けてまいります。



飲食レストランチェーン部門 顧客満足度 NO.1

スシローは2019年度JCSI（日本版顧客満足度指数）飲食レストランチェーン部門で1位を獲得しました。この結果に満足することなく、お客様一人ひとりの更なる満足のために、これからも挑戦を続けてまいります。



事業内容及び営業概況

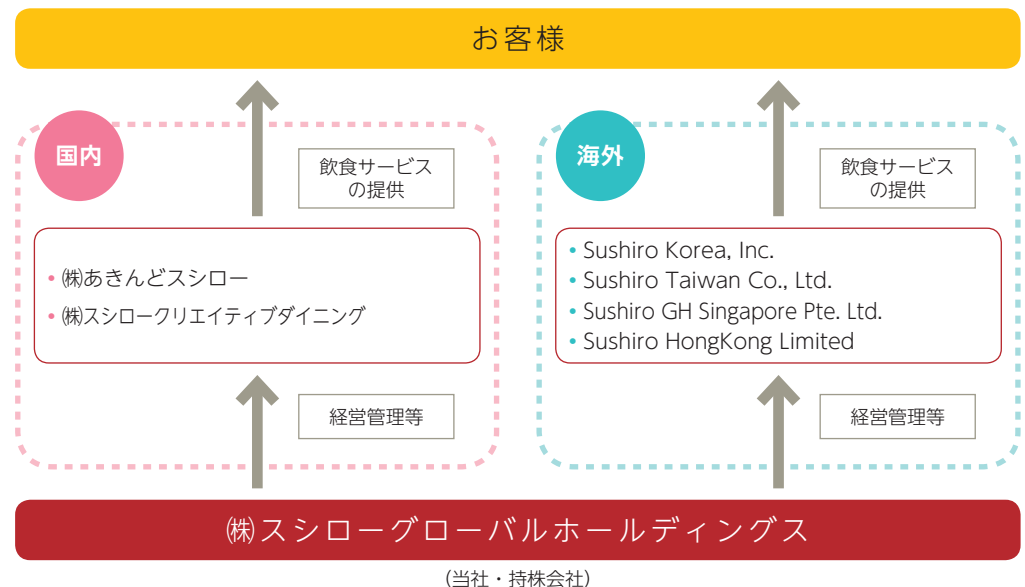
事業内容



当社グループは、当社及び連結子会社6社で構成されており、直営方式による回転すし店のチェーン展開を主たる事業としています。

国内では『スシロー』ブランドにて直営方式による回転すし店を中心に展開し、海外では韓国・台湾・香港・シンガポールで直営方式による回転すし店を展開しています。

当社グループの事業の系統図は以下のとおりです。



2019年9月期 営業概況

外食業界におきましては、慢性的な人手不足による人件費の上昇や消費税増税による個人消費への影響等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」を使命として、美味しいすしを通じてより多くの皆様に驚きと感動を感じていただきたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に努めてまいりました。

店舗開発につきましては、45店舗出店（国内32店舗、海外13店舗）、4店舗退店（国内4店舗）したことにより、当連結会計年度末の店舗数は、国内541店舗、海外25店舗の合計566店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上収益199,088百万円（前連結会計年度比13.8%増）、営業利益14,546百万円（前連結会計年度比24.1%増）、税引前利益14,363百万円（前連結会計年度比24.8%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益9,959百万円（前連結会計年度比24.6%増）となりました。

連結財務諸表（要旨）

	第3期 2016年10月1日～ 2017年9月30日	第4期 2017年10月1日～ 2018年9月30日	第5期 2018年10月1日～ 2019年9月30日
売上収益	(百万円) 156,402	174,883	199,088
営業利益	(百万円) 9,204	11,718	14,546
税引前利益	(百万円) 8,995	11,508	14,363
親会社の所有者に帰属する当期利益	(百万円) 6,952	7,991	9,959
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	(百万円) 6,951	7,979	9,523

親会社の所有者に帰属する持分	(百万円) 31,853	40,835	47,367
資産合計	(百万円) 125,562	132,062	136,349

1株当たり親会社所有者帰属持分	(円) 1,145.36	1,435.99	1,630.54
基本的1株当たり当期利益	(円) 253.16	276.93	343.25
希薄化後1株当たり当期利益	(円) 247.09	273.54	341.08
親会社所有者帰属持分比率	(%) 25.0	31.5	34.7
親会社所有者帰属持分当期利益率	(%) 24.8	21.9	22.4

営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円) 11,574	14,744	17,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円) △5,533	△6,398	△10,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円) △5,663	△4,516	△8,578
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円) 8,538	12,386	10,341

POINT

国内のスシロー業態、新業態の「鮎・酒・肴 杉玉」事業、海外韓国・台湾いずれも店舗数を拡大し、更に香港・シンガポールへの出店の結果、増収増益となりました。

POINT

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,287百万円増加し、136,349百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ916百万円減少し、15,612百万円となりました。非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,203百万円増加し、120,737百万円となりました。これは主に、新規出店等により有形固定資産が2,984百万円、持分法で会計処理されている投資が1,816百万円、敷金及び保証金が655百万円それぞれ増加した一方で、無形資産が128百万円、その他の金融資産が103百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

POINT

営業活動の結果獲得した資金は、17,309百万円（前連結会計年度比17.4%増）となりました。これは主に、税引前利益14,363百万円、減価償却費及び償却費4,794百万円、減損損失584百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が2,355百万円あった一方で、営業債権及びその他の債権の増加が1,060百万円、利息の支払額が155百万円、法人所得税の支払額が4,690百万円あったこと等によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、10,682百万円（前連結会計年度比67.0%増）となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が7,416百万円、無形資産の取得による支出が309百万円、敷金及び保証金の差し入れによる支出が1,033百万円、持分法で会計処理されている投資の取得による支出が1,994百万円あったこと等によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、8,578百万円（前連結会計年度比90.0%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が4,168百万円、リース債務の返済による支出が1,049百万円、新株予約権の取得による支出が945百万円、配当金の支払額が2,465百万円あったこと等によるものです。

会社概要

(2019年9月30日現在)

社名	株式会社 スシローグローバルホールディングス Sushiro Global Holdings Ltd.
設立	2015年3月
所在地	大阪府吹田市江坂町一丁目22番2号
資本金	1億円
従業員数	2,220名【社員】（連結）
主要取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行
事業内容	すしレストランの経営
グループ事業会社	株式会社 あきんどスシロー 株式会社 スシロークリエイティブダイニング Sushiro Korea, Inc. Sushiro Taiwan Co., Ltd. Sushiro GH Singapore Pte. Ltd. Sushiro HongKong Limited

役員

(2019年12月20日現在)

代表取締役社長	水留 浩一
取締役常務執行役員 社長補佐 兼 経営企画・品質管理管掌	木下 嘉人
取締役常務執行役員 仕入・商品業務・商品開発管掌	新居 耕平
取締役常務執行役員	堀江 陽
取締役 役	松本 晃
取締役 役	近藤 章
取締役 役	高岡 浩三
取締役（監査等委員）	納塚 善宏
取締役（監査等委員）	豊崎 賢一
取締役（監査等委員）	市毛 由美子

※取締役松本晃、近藤章及び高岡浩三、並びに監査等委員である取締役納塚善宏及び市毛由美子は社外取締役です。

株式情報

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	109,000,000株
発行済株式の総数	29,012,496株
株主数	27,452名

大株主

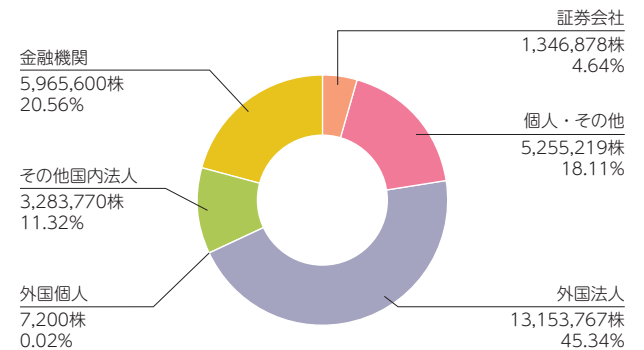
(上位10名：2019年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神明ホールディングス	1,903	6.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,722	5.93
全国農業協同組合連合会	1,111	3.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	923	3.18
JPモルガン証券株式会社	649	2.23
MSIP CLIENT SECURITIES	505	1.74
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	493	1.69
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 HKMPF 10PCT POOL	458	1.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	432	1.49
OBERWEIS INTERNATIONAL OPPORTUNITIES INSTITUTIONAL FUND	427	1.47

(注) 持株比率は自己株式（62株）を控除して計算しております。

株式の状況

(2019年9月30日現在)



※株式数比率の合計につき、小数点第3位までの表記により99.99%となっております。

株主優待

半期に一度、株主の皆様には株式会社あきんどスシローが運営する国内のスシロー店舗、並びに株式会社スシロークリエイティブダイニングの運営するスシローコノミ、及び大衆寿司居酒屋「鮨・酒・肴 杉玉」の各店舗でご利用いただける優待割引券をご提供いたします。他の割引券との併用が可能な大変お得な株主優待です。

対象株主	優待内容
100株～199株	株主優待割引券 年間 4,000円 分 (2,000円×2) 贈呈金額 2,000円(9月末日基準日)、2,000円(3月末日基準日)
200株～499株	株主優待割引券 年間 8,000円 分 (4,000円×2) 贈呈金額 4,000円(9月末日基準日)、4,000円(3月末日基準日)
500株～	株主優待割引券 年間 20,000円 分 (10,000円×2) 贈呈金額 10,000円(9月末日基準日)、10,000円(3月末日基準日)



ご利用上の留意点

- ご利用いただける店舗は以下の通りです。
 - 国内のスシロー全店舗
 - スシローコノミ全店舗
 - 大衆寿司居酒屋「鮨・酒・肴 杉玉」全店舗
- 会計金額1,000円(税抜き)毎に500円の優待割引券のご利用が可能です。
- 贈呈金額2,000円毎に500円の平日限定割引券が含まれます。
 - (2,000円の場合：1,500円分は全日利用可能、500円分は平日限定で利用可能・4,000円の場合：3,000円分は全日利用可能、1,000円分は平日限定で利用可能・10,000円の場合：7,500円分は全日利用可能、2,500円分は平日限定で利用可能)
- 他の割引券との併用可能です。
- 有効期限の超過した優待割引券はご利用いただけません。
- 現金との引き換えはできません。

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告にて当社のホームページ (https://www.sushiroglobalholdings.com/financial) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

スシローアプリ好評配信中 今すぐダウンロード

iPhone版はこちら▶



Android版はこちら▶



- ※アプリダウンロード後、会員登録をいただくことでご利用いただけます。
- ※スマートフォンのみのご利用となります。(PC・スマートフォン以外の携帯端末の方はご利用できません)
- ※iOSバージョン9.3以上、Android OSバージョン4.4以上搭載の端末でのご利用を推奨いたします。(一部端末では正しく動作しない場合がございます)
- ※スマートフォン以外の機器は、動作保証外です。



株式会社スシローグローバルホールディングス

大阪府吹田市江坂町一丁目22番2号 TEL : 06-6368-1001 (代)